



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



浜松東地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施（令和4年7月中）

浜松東地区安全運転管理協会は、地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、本年7月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

【浜松東地区】

7月20日（水）、県警交通部及び浜松東警察署の呼び掛けで、浜松市役所、地元自治会、安協浜松東地区支部（交通安全指導員）等関係団体とともに、浜松東地区安全運転管理協会から小川会長、事務局長の他、会員事業所「沢根スプリング㈱」

「特別養護老人ホーム静光園」の安全運転管理者計4人が参加、合計28人により7月2日（土）午後、浜松市南区小沢渡町の市道交差点で発生した交通死亡事故（普通乗用車と大型バイクとの衝突事故、大型バイク運転の41歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側2車線で中央分離帯と右折車線のある大きな信号交差点で、参加者により現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 交差点の安全な右折を促すため、右折誘導線の道路標示の設置、さらに、交差道路双方に右折矢印信号の設置を検討
- 交通事故発生と右折車への注意喚起のため、注意看板の設置を検討
- 参加団体にて通行車両や二輪車の交通事故防止に向けた広報活動を実施

など、活発な意見が出されました。



【現場交差点の状況】



【現場診断の実施状況】



【事故防止対策協議・意見発表の様子】